

平成21年度第3回府中市男女共同参画推進懇談会会議録

- I 日 時 平成21年9月17日（木）午後6時半～8時半
- II 場 所 女性センター 第1会議室
- III 出 席
- (i) 委 員
小西会長、諸橋副会長、青野委員、井沢委員、江田委員、後藤委員、中里委員、中嶋委員、藤田委員、
- (ii) 事務局
森井市民活動支援課男女共同参画担当主幹、松井男女共同参画推進係長、大沢事務職員
- IV 欠 席
明石委員、日高委員、四井委員
- V 傍聴者
なし
- VI 会議内容
- 1 開会
 - 2 前回の議事録の確認
異議なく承認された。
 - 3 配布資料確認
 - ・ 資料1 平成21年度府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書重点項目
 - ・ 資料2 重点項目分担案
 - ・ 資料3 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について
 - ・ 資料4 スクエア21・府中市女性センター団体登録について（抜粋）
 - 4 報告事項
なし
 - 5 協議事項
 - (1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 第三者評価について
第2回会議の中で、府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書の第三者評価を進めるにあたり、事務局が類似した重点項目をグループ分けし、重点項目分担案を作成し、第三回会議の事前配布資料とすることが決定していた。この重点項目分担案をもとに、第三回会議実施日以前に、委員は第1・第2希望を事務局に報告した。この結果は別表のとおりで、概ね委員の第1希望が採用されたため、このとおり分担することとした。
また、各担当（2名1組）内における第三者評価の進め方については、各担当で決定

することとし、第三者評価の案を11月19日（木）までに事務局に提出することとした。

なお、正副会長は、担当を持たず、全ての項目を総括的に担当することとした。

第三者評価を行うにあたり、担当課に対する質問事項等がある場合は、推進懇談会会長名で担当課に質問するため、質問内容を書面で事務局に送付することとした。

(2) DV被害者支援のための取組について

諮問事項であるDV被害者のための支援について、各委員が意見を述べ、また、事務局に質問をした。主な内容は次のとおりである。なお、次の内容は事務局からの回答を含む。

- ・ DVに関する相談・保護命令の件数や市の対応の流れ等、市の現状について知りたい。
- ・ DV被害者の現状、それに対する市の支援の現状を知りたい。
- ・ 市では民間シェルターに対して、年間20万円の助成金を交付しているが、1つのシェルターを運営するのに年間150万円が必要だと言われている。
- ・ 府中市の現状を知る必要がある。他市の真似をしても仕方がない。
- ・ 警察や民間シェルターとの連携が大切である。
- ・ センターでよく活動しているが、現実としてDV被害者は多いと思う。自身が相談を受けたり、話を聞くことがよくある。身近な問題である。
- ・ 都内の人は地方に、地方の人は都内に逃げなくてはならないという現状がある。
- ・ 予算が必要になるものであるが、(第1回会議で資料とした)千葉市のパンフレットのようなものがあるといい。
- ・ 平成17年の内閣府の調査によると、女性の3人に1人は何らかのDV被害を受けたことがあるようだ。
- ・ 女性が男性を殺害すると大きな事件になるが、男性が女性を殺害した場合は、大きな事件になることが少ない。
- ・ DV被害を受けていることを正直に言わない人が多い。こういう人のことも考えていかななくてはならない。
- ・ DV加害者には、社会的な地位のある人が多い。その妻はDVを隠したが、表面に出ないということが多い。
- ・ 夫婦の暴力行為が、子どもに影響することがある。
- ・ 体力・経済力等で優位な立場の人が弱い立場の人を思い通りに支配し、自分の欲求を一方向的に満たすための暴力がDVである。
- ・ DVは男性から女性に対してだけではなく、女性から男性に対するものもある。
- ・ 府中市女性センターはDVに関する啓発を行う施設という位置づけである。相談業務も行っており、緊急性がない場合は、継続して相談を受けている。すぐに保護が必要だと思われる相談については、担当部署に引継ぎ対応する。
- ・ 市では年に1回、DVに関わる部署を集めて、対策連携会議を設け、情報交換等を

行っている。会議の主な目的は、DV被害者の保護・救済及び二次被害の防止である。

- ・ 現在、被害者を保護した後の手続きとして、市役所の各窓口で必要な手続きを行う。被害者が複数の窓口をまわるのが現状なので、ワンストップでサービスを実現したい。
- ・ 連携会議には、どのような部署が参加し、過去にどのようなことを協議したか知りたい。
- ・ 本来であれば、被害者を保護するのではなく、加害者をなくすことが重要であると感じる。
- ・ 犯罪件数の調査で、空き巣、車上荒らし等の件数が公表されているが、性犯罪の件数が出ていない。市から要請し、性犯罪の件数も公表して欲しい。
- ・ 他の自治体の取組でも良い例があれば、取り上げていきたい。
- ・ DV被害者支援の裾野を広げることを目的として、女性センターで養成講座を実施すると良い。
- ・ 諮問事項では、DV被害者のための支援ということであるが、DV被害者をなくすための取組とすべきだと考える。このためには、加害者に対する啓発活動を行うべきであり、被害者への支援に付随して、加害者への啓発を行うことを提言すると良い。
- ・ 仕事上、男女共同参画に関わることもあり、研修等で男女は基本的に平等だということを取り返し教わってきたが、育った家は昔ながらの家庭だったので、自分も加害者になっていたかもしれないと感じる。
- ・ 暴力が巷で起これば刑事罰であるが、ドメスティック・バイオレンスという言い方により、結果的に許してしまっている部分があるように感じる。
- ・ 女性が訴えなければならないが、経済的側面から、訴えることができないこともある。女性が自立しなければならないというのは、こういうことでもある。

この他に、情報を収集し、継続して協議することとした。

(3) 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について

資料3及び資料4を事務局から説明した。この内容については、今後、協議することとした。

(4) その他

今後、会議の日程については、開催日を原則第4木曜日とすることとし、次回の会議は平成21年11月26日（木）とした。

6 閉会

番号	分類	項目番号	項目	担当課	担当委員
1	施策・広報等に関すること	001	審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進	全庁・政策課	中里委員 明石委員
		002	すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進	全庁・政策課	
		021	女性職員の参画意識の向上	全庁・職員課・市民活動支援課	
		046	介護保険制度と福祉サービスの充実	高齢者支援課	
		018	地域安全リーダーの育成	地域安全対策課	
		019	男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進	防災課	
		099	広報紙・啓発冊子等での啓発の充実	広報課・市民活動支援課	
2	労働・学習活動に関すること	004	市民の自主的学習活動の援助	市民活動支援課	後藤委員 四井委員
		010	コミュニティ活動等への参加促進	市民活動支援課	
		023	女性の就職支援講座の実施	市民活動支援課	
		029	長時間労働是正の啓発	住宅勤労課	
		093	地域学習啓発講座の実施	市民活動支援課	
		095	雇用主・労働者双方への働きかけ	住宅勤労課	
3	教育に関すること	039	学童クラブの充実	児童青少年課	井沢委員 中嶋委員
		070-①	学校教育におけるエイズ、薬物、飲酒、喫煙等の予防・啓発	健康推進課	
		070-②	学校教育におけるエイズ、薬物、飲酒、喫煙等の予防・啓発	学務保健課	
		070-③	学校教育におけるエイズ、薬物、飲酒、喫煙等の予防・啓発	指導室	
		077	学校教育の中での知識の提供・啓発	指導室	
		088	男女平等教育の推進	指導室	
4	女性に関すること	058	暴力を防ぐための意識啓発	市民活動支援課	日高委員 青野委員
		068-①	母子の健康増進	市民活動支援課	
		068-②	母子の健康増進	健康推進課	
		069	健康診査事業の充実	健康推進課	
		083-①	女性自身に関する相談の充実	広報課	
		083-②	女性自身に関する相談の充実	市民活動支援課	
		083-③	女性自身に関する相談の充実	子育て支援課	
5	子育て・子どもの相談に関すること	032	一時保育の拡充	子育て支援課	江田委員 藤田委員
		036	低年齢児保育の充実	保育課	
		085-①	子どもに関する相談の充実	健康推進課	
		085-②	子どもに関する相談の充実	子育て支援課	
		085-③	子どもに関する相談の充実	保育課	
		085-④	子どもに関する相談の充実	児童青少年課	
		085-⑤	子どもに関する相談の充実	指導室	